

北九州市新成長戦略の平成28年度実績について

1 平成28年度の雇用創出実績について

○ 新成長戦略 雇用創出実績 . . . 資料1

2 平成28年度の実績状況について

○ 北九州市新成長戦略 ～平成28年度の実績状況～ . . . 資料2

○ 平成28年度企業訪問、出前講演等の実績状況 . . . 資料3

3 新成長戦略推進懇話会（有識者会議）構成員からの意見

○ 第8回 新成長戦略推進懇話会議事要旨 . . . 資料4

新成長戦略 雇用創出実績

単位:人

項 目	27年度	28年度	2ヵ年計
方向性Ⅰ 地域企業が元気に活動し続ける環境整備	378	548	926
○中小企業の競争力向上 ○充実した物流基盤を活用した物流振興 など			
方向性Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスターの形成	491	1,023	1,514
○次世代自動車産業拠点の形成 ○我が国をリードするロボット産業拠点の形成 ○豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成			
方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興	1,046	2,447	3,493
○高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進 ○にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充 ○サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積			
方向性Ⅳ グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成	20	16	36
○アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開 ○北九州発ブランドの海外ビジネス支援 など			
方向性Ⅴ 地域エネルギー拠点の形成	13	80	93
○省エネルギー(ネガワット)の推進 ○再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成 など			
雇用創出に向けて	1,430	1,018	2,448
○若年者の雇用創出 ○女性の雇用創出 ○医療・介護・福祉、子育て支援分野での雇用創出 など			
総 計	3,378	5,132	8,510

単位:人

雇用のマッチング実績	27年度	28年度
(1)若年者の雇用マッチング	1,070	1,122
(2)女性の雇用マッチング	89	926
(3)高齢者の雇用マッチング	1,084	1,056
(4)障害者の雇用マッチング	67	95
(5)U・Iターンの雇用マッチング	—	163
総 計	2,310	3,362

北九州市新成長戦略

～平成28年度の取組状況～

平成29年4月

中小・小規模企業の競争力向上

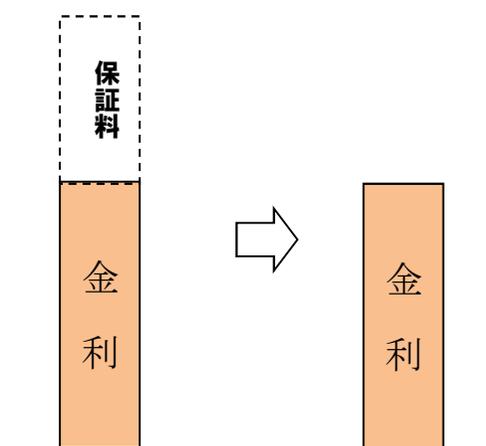
○主な取組状況

○H28年7月～

福岡県信用保証協会と市で、「創業・雇用に係る国家戦略特区」における業務連携・協力に関する覚書を締結

- これまで利用者が負担していた、「開業支援資金（市の融資制度）」の保証料を、市と福岡県信用保証協会が折半して負担し、ゼロへ
- 保証料 H28年6月末まで**0.75%**
⇒H28年7月から**0%**
(※利用者負担)
- **新規貸出件数**
H27年度 60件→H28年度 106件

【利用者負担イメージ】



H28・6月末
H28・7月以降
まで

【保証料とは】

信用保証協会が金融機関に対して中小企業の債務を保証する「信用保証」の対価として利用者が負担するもの。



中小・小規模企業の競争力向上

○主な取組状況

○H28年4月～

「ものづくりはカッコイイ！」製造業・建設業の魅力を伝える若者向け情報サイト『ゲンバ男子』、『ケンセツ男子・ケンセツ女子』を開設！！

- 「ものづくりの街」北九州市の製造業・建設業の現場で活躍する若者(男女)の姿を専用サイトで紹介
- ものづくりのイメージアップを図り、若年者の新たな人材確保に繋げる
- ゲンバ男子→25社、25名
ケンセツ男子・ケンセツ女子
→13社、13名を掲載中！



中小・小規模企業の競争力向上

○主な取組状況

「中小企業人材確保支援助成金」

○H28年5月～

中小企業団体の若年・女性向けイメージアップの取組み

- 市内の中小企業団体が行う、**若年者や女性等の就労促進を目的**として独自に取り組む「**業界のイメージアップ**」や「**職場環境の改善**」などを図る事業に必要な経費の一部を助成
- 土木・建築系学科の高校生を対象にした移動式クレーンの体験学習、工業高校生を対象とした工業団地内オープンファクトリーなど、**6団体、1,802千円に交付決定(H28年度)**



高校生クレーン体験学習



工業高校生を対象とした工業団地内オープンファクトリー

中小・小規模企業の競争力向上

○主な取組状況

- フィンテック企業との連携による革命的
中小企業支援プロジェクト始動
 - ・業務効率化やクラウド活用に関するセミナー開催（6月24日開催）
 - ・商店街クラウド化プロジェクトの推進
 - ・株式会社マネーフォワード、株式会社北九州銀行、株式会社みずほ銀行と「中小企業・小規模事業者の生産性向上及び新たな起業促進に関する協定」締結（8月23日締結）
- 福岡県よろず支援拠点・北九州商工会議所と連携した「北九州よろず経営相談窓口」を開設（10月から開設） など



クラウド化勉強会
（若松商店街）

包括連携協定締結



北九州よろず
経営相談窓口
セミナー



中小・小規模企業の競争力向上 (ベンチャー企業の創出・育成)

○主な取組状況

- 「北九州高専との連携協定 (H28.3)」の取組み
 - ・北九州スタートアップネットワークの会での議論から新たな人材育成の取組みへ発展
 - ・高専「ものづくりセンター」を利用し、スタートアップ企業による試作品作りが可能に【28年度の実績】
 - ・表情識別型アロマディヒューザーの開発 (YK STORES(株)、北九州高専、小国町森林組合)
- 北九州市スタートアップ支援貸付 (H26.5~)
 - ・日本政策金融公庫と自治体の日本初の連携
 - ・一定の条件を満たす場合に金利を優遇
 - ・11社、8,950万円の融資実績 (H26.5~29.3)



連携協定調印式の様子



連携協定の一環で開発された表情識別型アロマディヒューザー

中小・小規模企業の競争力向上 (ベンチャー企業の創出・育成)

○主な取組状況

○北九州スタートアップネットワークの会

- ・ 起業支援を目的に「産学金官」が連携したネットワークを構築 (H27.4発足)
- ・ 起業を目指す人、金融機関、企業、学生等
会員数615名 (H29.3末時点)

○北九州スタートアップラウンジ

- ・ 会員が気軽に集える場としてセミナー・交流会を定期開催 (28年度は全15回)

【主なもの】

「創業手帳セミナー」(H28.4)

「女性起業家フォーラム」(H28.11)

「スタートアップラウンジ in TOKYO」(H29.2)



女性起業家フォーラムでの
交流会の様子 (会場：fabbit)



スタートアップラウンジ in
TOKYOの様子 (東京事務所)

充実した物流基盤を活用した物流振興

○主な取組状況

- 貨物拠点化への取組みと集貨の促進
 - ・ 大型貨物用エプロンの新設（H29.3.30供用開始）
⇒大型貨物機のノーズオペレーションに対応
⇒長尺貨物、重量貨物に対応が可能
 - ・ 大型貨物チャーター便が就航
⇒B747-8Fなどの貨物チャーター便が月1~2便運航
⇒九州・西中国エリアの企業物流で利用可能
 - ・ 東九州自動車道沿線からの集貨
⇒東九州自動車道（北九州一宮崎）全線開通
⇒東九州自動車道沿線の精密機器等の工業製品、鮮魚や野菜などの生鮮貨物の航空輸送の取り込み



新設された大型貨物用エプロン
（中央左部分）



大型貨物機による
ノーズオペレーション

充実した物流基盤を活用した物流振興

主な取組状況

■ フェリー航路の輸送力向上

新門司に拠点を置くフェリー3社の新造船8隻が投入完了し、輸送力が約25%向上した。

■ 新規航路の誘致

① コンテナ航路の拡充

韓国・中国を中心に30以上の港とダイレクトに結び、また内航コンテナ航路も京浜港まで延伸され、サービスが向上。

② 中古自動車輸出の航路拡充

中古自動車の輸出のため、オセアニア・カリブ地域への3航路が就航中

③ 半導体製造装置等の輸出拡大

半導体製造装置等の輸出量増加に伴い、田野浦地区に拠点を置く物流会社が規模を拡充



次世代自動車産業の拠点化

○主な取組状況

H28.6 北九州アップデートモビリティ研究会の発足

- ・ソフトバンク(株)が出資するSBドライブ(株)と締結した連携協定に基づき、自動運転バスの実用化を目的とした研究会を発足。
- ・平成30年度後半の走行実証に向けて、課題の整理、実証計画の作成等に取り組んでいる。

【研究会概要】

発 足 : H28.6

メンバー : SBドライブ、先進モビリティ、第一交通産業、西日本鉄道、九州工業大学、早稲田大学、北九州産業学術推進機構、北九州市



H29.2 自動車産業セミナー ～自動運転技術の開発最前線～

- ・自動運転技術をテーマとしたセミナーを開催。地元企業を始めとする62社・団体が参加。」

H29.3 自動車工学基礎講座in北九州の開催

- ・研究開発機能の集積と高度人材の育成を推進するため、(公社)自動車技術会との連携事業として、自動車工学基礎講座を九州で初めて開催。2日間で若手エンジニアや自動車について学びたい学生を中心に、延べ140人が参加。



我が国をリードするロボット産業拠点の形成

○主な取組状況

1 民生用（サービス）ロボットの開発支援

◆北九州市介護ロボット開発コンソーシアムを立ち上げるとともに、市内の特別養護老人ホーム（2施設）でロボットの導入実証を行い、介護施設の現場ニーズに基づく新たな開発と実用化に取り組んだ。

⇒**コンソーシアム会員：16企業、4大学、2機関**

◆老朽化インフラの点検作業の効率化を図るため、点検ロボットの開発・実証支援を行った。

2 地域企業のロボット導入支援

◆地元製造業の生産性向上を図るため、ロボットの導入相談を行う「産業用ロボット導入支援センター」を運営するほか、企業への導入補助を行った。また、システムインテグレーターを育成する講座を新たに開設した。

介護ロボット



インフラ点検ロボット



産業用ロボット



豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成

古着リサイクル事業

○回収実績（H27）

661トン

市内	365トン
市外	296トン

○新たな取組

市民に、より身近な回収体制を整備し、利便性の向上と、古着リサイクル事業の安定的成長を図るため、市民団体による回収制度を開始

■制度概要

- まちづくり協議会による拠点回収
 - ・奨励金額：1kgあたり2円
 - ・回収団体：43団体
- 町内会等による集団資源回収
 - ・奨励金額：1kgあたり1円

古着リサイクル事業の概要

- 家庭や事業所から出る古着を自動車用内装材としてリサイクルする官民協働事業
- 環境産業と自動車産業が集積する北九州市の地域特性を活かし、北九州市を中核とする「高度な地域循環圏」を構築することにより、ごみの減量・資源化とグリーン成長の推進を目指している

<スキーム>



その他の主要施策（航空機産業）

○主な取組状況

福岡県と連携し、航空機人材育成講習の開催や企業への専門家派遣、航空機産業展示会への出展等の事業を実施

●福岡県航空機産業振興会議

【会員】135企業・団体（県内企業中心）

（内市内 56企業・団体（H29.2月時点））

- ものづくりの街としてのポテンシャルを活かし、航空機関連産業の誘致や地元企業の参入支援に積極的に取り組む

●北九州空港にMRJ量産機飛行試験用の格納庫が竣工（H29.1月）

